

### 3 国政選挙結果

#### (1) 令和4年4月統一補欠選挙

令和4年4月24日、参議院石川県選挙区において補欠選挙(4月7日告示)が行われた。選挙結果は右のとおりである。

衆議院議員の補欠選挙は、対象となる欠員がないため実施されなかった。

参・石川県選挙区(山田修路君 令3.12.24 辞職)			
立候補者数	4人	投票率	29.93%
当選人	宮本 周司君(自由民主党)		

#### (2) 第26回参議院議員通常選挙

第26回参議院議員通常選挙は、令和4年6月22日に公示、7月10日に投票が行われた。なお、参議院神奈川県選挙区において、任期を異にする議員の欠員が生じていたため補欠選挙が通常選挙と合併して行われた。

今回の選挙における選挙すべき議員数は、比例代表選出議員50人、選挙区選出議員75人(改選数74、通常選挙と合併して行われる補欠選挙の対象となる欠員1)の計125人であった。これに対し、立候補者数は、比例代表が178人、選挙区が367人、計545人であり、このうち女性の立候補者数は181人であった。党派別内訳は表1のとおりである。

競争率は、比例代表で3.56倍、選挙区で4.89倍<sup>(注)</sup>であり、当選人数の党派別内訳は表2のとおりである。

自由民主党及び公明党から成る連立与党の獲得議席数は、自由民主党63、公明党13、計76であった。

一方、野党各党の獲得議席数は、立憲民主党17<sup>(注)</sup>、日本維新の会12、国民民主党5、日本共産党4、れいわ新選組3、社会民主党1、NHK党1であった。また、参政党が新たに1議席を獲得した。

女性の当選人は35人<sup>(注)</sup>で、前回の28人よりも7人増加した。

投票率は、比例代表52.04%、選挙区52.05%であり、いずれも前回の通常選挙(比例代表48.79%、選挙区48.80%)を上回った。

(注) 神奈川県選挙区で通常選挙と合併して行われた補欠選挙に係る欠員又は当選人を含めたものである。

(表1) 党派別立候補者数

	比例代表	選挙区	小計
自由民主党	33	49	82
立憲民主党	20	31	51
日本維新の会	26	20	46
公明党	17	7	24
国民民主党	9	13	22
日本共産党	25	33	58
れいわ新選組	9	5	14
社会民主党	8	4	12
NHK党	9	73	82
参政党	5	45	50
幸福実現党	1	11	12
ごぼうの党	11		11
日本第一党	2	8	10
新党くにもり	2	8	10
維新政党・新風	1	9	10
諸派		16	16
無所属		35	35
計	178	367	545

(総務省「第26回参議院議員通常選挙結果調」(令4.7.15)による)

(表2) 党派別当選人数

	比例代表	選挙区	小計
自由民主党	18	45	63
立憲民主党	7	9(10)	16(17)
日本維新の会	8	4	12
公明党	6	7	13
国民民主党	3	2	5
日本共産党	3	1	4
れいわ新選組	2	1	3
社会民主党	1	0	1
NHK党	1	0	1
参政党	1	0	1
無所属		5	5
計	50	74(75)	124(125)

※ 選挙区欄及び小計欄の括弧書きは、神奈川県選挙区で通常選挙と合併して行われた補欠選挙を含めた当選人数である。

(総務省「第26回参議院議員通常選挙結果調」(令4.7.15)による)

### (3) 令和4年10月統一補欠選挙

衆議院山口県第4区(安倍晋三君7月8日死去)及び衆議院和歌山県第1区(岸本周平君9月1日辞職)は、選挙訴訟が係属中であるため補欠選挙を実施することができなかった。

参議院議員の補欠選挙は、対象となる欠員がないため実施されなかった。